

臨床研究に関する情報公開

<人を対象とする医学系研究に関する倫理指針>に基づき、研究の実施について下記のとおり情報を公開します。

研究結果は学会等で発表される事がありますが、その際も個人を特定する情報は公表しません。

★本研究の対象となられる患者さんで本研究にご賛同いただけない方や、研究計画、研究方法、または個人情報の取扱いなどについてお問い合わせがある場合は、下記の<お問い合わせ窓口>までご連絡ください。

★研究不参加を申し出られた場合も、不利益を受けることはありません。

<p><研究課題名></p> <p>胎児心臓超音波検査における患者体位とモニター位置に関する患者アンケート調査</p>
<p><研究機関・研究責任者名></p> <p>日本大学医学部附属板橋病院 小児科 (研究責任者)高橋 昌里</p>
<p><研究期間></p> <p>承認日 ~ 西暦 2018 年 3 月 31 日</p>
<p><研究の目的と意義></p> <p>妊婦健診で胎児異常の可能性が指摘された患者に対して、二次スクリーニングとして行われる胎児超音波検査において、体位による患者心理について検討が必要と考えた。モニター、患者、検者（医師）の位置関係について、患者の心理に対する配慮としての high feedback（超音波機器のモニターが患者の足元に位置する体位）の有用性について、質問紙法によるアンケート調査を行う。</p>
<p><対象となる患者さん></p> <p>西暦 2014 年 4 月 1 日～西暦 2014 年 12 月 31 日の期間に胎児心臓超音波検査二次スクリーニングをされた方</p>
<p><研究の方法></p> <p>胎児超音波検査を行う際、超音波機器のモニターが患者の足元に位置する体位で行う。 検者は胎児循環器疾患の専門的知識を有する小児科医で、検査時間は全て 15 分以内である。 検査終了後にアンケート用紙を配布し、調査の同意を得た後に患者自身に回答してもらう。 アンケート項目は、high feedback(HF:超音波機器のモニターが患者の足元に位置する体位)が low feedback(LF:超音波機器のモニターが患者の頭の横に位置する体位)と比較して、1)同席医師や学生の存在が気にならなかったか、について、「気にならなかった」5 点、「気になった」1 点とした 5 段階、2)モニターが見えることが検査の理解上有益であったか、について、「有益であった」を 5 点、「有益でなかった」を 1 点とした 5 段階、3)検者の腕を邪魔と感じなかったか、について、「邪魔と感じなかった」を 5 点、「邪魔と感じた」を 1 点とした 5 段階、4)検者の顔が見えずに不安と感じなかったか、について、「不安と感じなかった」を 5 点、「不安と感じた」を 1 点とした 5 段階で評価を行い、5)HF は LF よりも良い体位だと思うか、について、「良い体位だと思う」を 3 点、「良い体位だと思わない」を 1 点とした 3 段階で評価を行う。</p>
<p><お問い合わせ窓口></p> <p>日本大学医学部附属板橋病院(東京都板橋区大谷口上町 30-1) 小児科 氏名:飯田 亜希子 電話:03-3972-8111 内線:(医局)2442 (PHS)8406</p>